

Active Support

感謝の気持ちでいっぱいです！

読み聞かせボランティア ポケットの会

日毎に春めいてまいりました。進級・進学への期待の表れか、子供たちの声もより明るく感じられます。

今号も、読み聞かせ活動に携わってくださる方々の感想を、一部ですがお届けいたします。芝小での活動が10年以上、そして卒業を迎える方々も、想いを伝えてくださいました。



- 低学年の教室は、お話一つ一つに対し素直で純粋な感想を伝えてくれ新鮮です。お友達と同じ感想だったとしても自分も発言したい、といった様子や、各御家庭での読み聞かせの様子が想像できるような自然体の姿に、心温まります。
- 子供が1年生の時から、途中休止を挟みつつ、緩やかにボランティアを続けて早4年。本選びのネタ切れになって、メンバーからおススメを伺ったりもしましたが、子供の視点に囚われ過ぎず、自分が読みたいものも混ぜてどんな本を選んでみても、子供たちはいろいろな反応を見せてくれ面白く感じられます。学校公開とは違う子供たちの表情を正面から見られ、感謝しています。



- 先輩ママに誘われて、気軽に始めた読み聞かせでしたが、初めて人前で読むという経験に手も声もふるえたことがついこの前のことのようにです。さて、10年が経ちベテランになったかと思いきや、今でも子供たちの前に立つと、緊張が高まります。そのようなときは、作品の力を信じて、自分の感動を素直に届ければよい

のだと思うようにしています。読み手と聴き手の一体感が感じられたときは、何ものにも代え難い嬉しい気持ちになります。思いがけない素敵な感想にこちらが感動させてもらったこともたくさんありました。10年間とても貴重な経験をさせてくれた子供たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

- 読み聞かせボランティアを始めて以来、学校内、赤土公園等々、どこで会っても「こんにちは！」と笑顔で手を振り、挨拶してくれた子供たち。親の私にも、大勢の芝小の友達ができました。長男が入学して早11年。この間に世の中にも学校にも変化がありました。



スマホの普及や、一人一台タブレット貸与にまで。しかし月日が流れても、子供たちの絵本を見る純粋で真っ直ぐな目、素直な感情は変わっていないと感じます。本を通して、子供たちと共感し一緒に楽しむ中で、私自身も子供たちからエネルギーをもらい、温かい気持ちになれました。6年間の読み聞かせ・読書タイム・図書室で楽しんだ経験が、子供たちの心の片隅に残ってくれることを願っています。そして成長する中で、時にスマホの手を休め、本に没頭したり、自分の子供へ絵本を読み聞かせながら、芝小を思い出してくれたら嬉しく思います。11年間、読み聞かせの楽しいメンバーに囲まれ、子供たちに触れ合う時間は、私にとって宝物でした。ありがとうございました。

(担当 串橋 節子)

2月 読み聞かせ

1-1
ともだち
Where is Spot?

1-2
でんせつのきょだいあんまんを
はこべ
はるがきた



2-1
よふかしにんじゃ
きつねのでんわボックス
はやくちことぼでおでんも
おんせん

2-2
かぶとむしランドセル
給食番長

3-1
100万回生きたねこ
むかしむかし
とらとねこは…
ゆきむすめ

3-2
おっとあぶない!
せかいでさいしょの
ポテトチップス

4-1
はくぶつかんのよる
なぞかけどうじょう
ごちそうの木

4-2
バナナじけん
空をつくる
「いたいっ！」がうんだ
大発明

5-1
すごいね！みんなの通学路
～世界に生きる子どもたち
最速で夢をかなえる！
妄想すごろくノート術

5-2
アルパカパカパカ
やってきて
閻魔王の失敗
～新潟の昔話～
ふくしまからきた子

6-1
かあちゃん取扱説明書
外郎売

6-2
おとうさんのちず
インド神話
ガネーシャ物語

3月 読み聞かせ



3月12日(火)に今年度最後の読み聞かせがありました。子供たちは毎月あるポケットの会の読み聞かせの時間を楽しみにしていました本の世界に入り込み、夢中になって聞いている子供たちの姿がありました。

読み聞かせボランティアの皆様、1年間子供たちのために心温まる読み聞かせをしていただきありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

